



小杖祭りの花笠踊り (国重要無形民俗文化財)

守って生かす、歴史文化

■栗東の文化財と歴史文化

本市には国・県・市で指定、選択、登録された文化財が137件あります。遺跡の発掘調査で見つかった考古資料から彫刻、絵画などの美術工芸品、建造物、歴史資料、祭礼などの無形民俗文化財などそのジャンルは多岐にわたります。

また、これらの指定された文化財のほかにも地域に大切に残されている未指定の文化財が数多くあります。さらに、私たちの生活の基礎となる景観や風景、風習、技術、方言などさまざまなものが、総合して栗東の歴史文化を形成していると言えます。しかし、現代社会においては地域の変化や災害への対応など、文化財や歴史文化を守り伝えていくことが困難な現状があります。また地域を活性化するための活用の取組みも急がれます。



小槻大社例大祭で奉納される小杖祭りの花笠踊りは令和2年3月に「近江湖南のサンヤレ踊り」として、国重要無形民俗文化財に指定された。昨年は奉納が中止となり、次回に向けて道具の整備が実施された。(5月)

■「栗東市文化財保存活用

地域計画」の作成

文化財の滅失や散逸を防止し、社会全体で継承に取り組むことは全国的な課題です。平成31年には改正文化財保護法が施行され、「文化財保存活用地域計画」が法的に位置づけられました。

本市でも文化財を含めた歴史文化を保存・活用していくため、令和2年度から3年度にかけて計画を作成していきます。計画には、市内の文化財の保存・活用に関して、本市が目指す将来的なビジョンや具体的な事業などの実施計画を定めます。これに基づき計画的に取組みを進めることで、継続性・一貫性のある文化財の保存・活用を促進します。さらに、関係者だけでなく、市民の皆さんの理解・協力を得ながら、より充実した文化財の保存・活用を目指します。

■栗東の歴史文化を

洗い出す取組み

本市では計画作成にあたり、市内の歴史文化の総合的な把握調査をしています。

11月には市内全自治会を対象にアンケートを実施。自治会長のほか

地域の役員の方々の協力を得て、文化財に対する意識や地域での取組みの現状について回答をいただきました。

また現在、地域に残る伝統的な民家や石造物などの総合的な調査をしています。特に大宝神社には、旧大宝、治田村地域に広大な信仰圏があり、地域で大切にされている大宝神社関係の損末社(注)が広範囲に分布しています。現在、地域の皆さんの協力のもと、こうした神社や祠の調査をしています。調査を進めていくと、長い歴史の中で地域の神社にこめられた人々の思いが伝わってきます。

(注)損末社：神社本社とは別に、境内、境外にある小規模な神社。



大宝神社信仰圏の調査の様子。はくせ泊瀬部神社(下鉤甲)にて。(12月)

■ワークショップを開催

10月、11月には、市内の歴史文化の保存と活用を考えるため、旧四か村地域でワークショップを開催。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、屋外で実施し、歩きながら地域の文化財について考えました。

第1回は10月に大宝地域で開催。相撲祭(注1)が実施されている大宝神社をスタートし、中山道を歩き、普段何気なく見ている水路が地域のまつりに大きく関わっていることを知りました。

第2回は紅葉が秋晴れに映える金勝地域で、大野神社を中心に細川(注2)とその周辺の丘陵部を一周。大野神社楼門や春日神社表門など、金勝に残る貴重な建造物を中心に見て歩きました。



大野神社境内には、重要文化財の楼門のほかにも、近代になって移築された長屋門がある。解説は滋賀県立大学人間文化学部 教授 石川慎治さん(建築史)(11月)

第3回の葉山地域では、日向山に登り山頂の多喜山城を詳細に見学。参加した大学生に戦国時代の合戦を再現してもらい、山道のわずかな高低差が戦いの場面に重要な役割を果たしていたことに気付きました。

最終回の治田地域では、椿山古墳から地山古墳までの古墳を巡り、地域の皆さんの協力のもと史跡が保存、維持されていることを再認識しました。



ワークショップに参加し、栗東の歴史文化の保存と活用を考える大学生。(京都橘大学:12月)

このワークショップには、小学生を含む市民、歴史遺産を学ぶ学生など、延べ105人が参加。「ここに案内板があるといい」「もっと情報発信してほしい」「今まで見過ごしてきたものに意味があることがわかった」などの意見が聞かれました。今後「栗東市文化財保存活用地域計画」に生かしていく予定です。

(注1) 相撲祭…大宝神社の秋の行事。水争いを子どもが相撲で解決したことが始まりとされています。
(注2) 細川…金勝川支流

■地域で大切にしている 歴史文化を募集しています

本市では計画作成に生かすため、身の回りで大切にされている歴史文化や、地域の活動について、今後も情報を集めていきます。

「私が大切にしたい歴史文化」「地域で取り組んでいる活動」について、スポーツ・文化振興課まで情報をお寄せください。



安養寺景観まちづくり協議会里山部会のみなさんと協働で行っている椿山古墳測量ワークショップ。(11月)

栗東の文化財を活用しよう

～椿山古墳Ⅱ～ 講演会&遺跡ウォーク

栗東市の文化財活用をテーマとしたシリーズ。今回は講演会の後、実際に古墳群を徒歩で巡ります。

安養寺山山麓から金勝川の左岸一帯は県下でも有数の古墳が集中する地域です。早春の古墳巡りで地域の良さを再発見しませんか。

開催日…3月20日(祝) 定員…50人(先着順)

・第1部 講演会「栗東の古墳と古代の官衙(役所)」
12:30～13:30 講師:滋賀大学名誉教授 小笠原好彦さん
場所…栗東市危機管理センター

・第2部 栗東市役所～椿山古墳～地山古墳 ウォーク(約4km)
13:30～16:30 案内:教育委員会、(公財)栗東市スポーツ協会

申込み…2月22日(月)～

電話・FAXにてスポーツ・文化振興課へ

(主催:教育委員会、(公財)栗東市スポーツ協会、安養寺景観まちづくり協議会里山部会、郷やまの会)